

平成30年度 東京大学入札監視委員会 議事概要

開催日時及び場所	平成31年3月26日(火)11:00～12:30 東京大学施設部(本部棟9階) 大会議室	
委 員	委員長 清水 幹裕 (弁護士) 委 員 蟹澤 宏剛 (大学教授) 委 員 竹内 啓博 (公認会計士・税理士)	
審議対象期間	平成30年1月1日から平成30年12月31日に契約締結した案件	
抽出案件(合計)	5 件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立ては無し。 抽出案件の個別審議に当たっては、委員長を含む全委員が全案件の審議を行った。
工 事	4 件	
一般競争入札	4 件	
随意契約	0 件	
設計・コンサルタント業務	1 件	
公募型プロポーザル方式	1 件	
随意契約	0 件	
委員からの意見・質問およびそれに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	なし	

質 問	回 答
1. 東京大学において発注した建設工事及び設計・コンサルタント業務について	
・特になし。	
2. 再苦情申し立て状況報告について	
・特になし。	
3. 談合情報等報告について	
・特になし。	
4. 審議対象工事及び設計・コンサルティング業務の抽出について	
・特になし。	
5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出条件の審議について	
<u>①(本郷)山上会館改修工事</u> ・詳しい応札状況について知りたい。また、落札業者の入札額は予定価格とどれくらいの乖離があったのか。 ・不落随契の協議内容について知りたい。 ・平均して入札額が高いようだが、何か背景があるのか。 ・結果的に落札率が100%で契約となっているため、背景を聞かれた時に説明できるようにする必要がある。予定価格についても検討をしたほうがよい。	 ・1回目の入札では3位であった業者が、2回目の入札で1位となった。入札額と予定価格は約9,000千円の乖離があった。 ・提出された工事内訳書と予定価格内訳との金額の差がある箇所を協議する。 ・材料価格が高くなっている。また、本工事に含まれる解体工事が稀なケースであったため、技術的な部分で価格が上がったのかもしれない。 ・検討する。
<u>②(本郷)基幹・環境整備(電気管路)工事</u> ・本工事について、時期的に施工期限の制約はあったのか。不調により入札日が延びたことで影響はあったのか。 ・再度公告の場合、予定価格の変更はあるのか。 ・東京都内の支店という条件だが、神奈川、千葉など範囲を広げないのか。	 ・電気以外に、土管を埋める土木工事も並行して行っており、日程を合わせなければならなかった。入札が延期されたことで土木工事の工期を延長したが、コストには影響はなかった。 ・労務単価が変動したので変更した。 ・工事の内容に特殊性がなく、都内の業者で十分集まると考えた。

質 問	回 答
<u>③(医病)入院棟A2・3階改修機械設備工事</u> ・参加者が1社であったのはどのような経緯があるのか。ヒアリングは行ったのか。 ・建物は古いのか。 ・工事は終了したのか。	・3工期に分けるという複雑性から、敬遠した業者が多かったと思われる。病院内での居ながらの工事のため、難易度が高かった。ヒアリングは行わなかった。 ・20年ほど経過している。 ・平成31年7月までに完成の予定である。
<u>④(柏Ⅱ)産学官民連携施設(仮称)新営その他工事</u> ・契約金額、予定価格ともに適切な水準となったが、何か要因はあるのか。 ・どのような総合評価方法だったのか。 ・落札業者は評価順位は何位だったのか。	・柏の地域自体あまり開発がされておらず、参加したい業者が多かった。見積査定率を精査したこともよかった。 ・参加業者に施工計画、工事实績を提出させ技術点として評価し、価格点と合わせて評価する。 ・1位と1点差での2位である。価格が下回り、落札となった。
<u>⑤(西東京)(仮称)総合研究実験棟新営その他(建築)設計業務</u> ・設備工事、設計などは予定価格の桁数が細かいが、基準があるのか。 ・変更契約で延長となった理由は何か。 ・簡易型プロポーザル方式とは、技術提案等の評価が最も高い提案者と交渉をして、予定価格に収まっていれば契約という流れか。	・設計においては人工の計算が主になるので、細かい数値となる。 ・農学部の実験林など、他部局との調整があるため、時間がかかった。 ・その通りである。